

令和7年度 粟ノ保小学校だより



ひまわり

令和7年9月1日 NO. 7

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 幸せのために】

◇ | 学期保護者アンケート結果 ◇ 4段階評価で(肯定的評価)の合計の割合
| 学期、保護者の皆様にオンラインにて回答頂いた結果をお知らせします。(回答率:96%)

項目	内容	R7.7	R6.7
1	子どもは、学校に行くのが楽しいと思っている	87%	93%
2	子どもは、学校・地域で元気に挨拶をしている	82%	88%
★3	子どもは、友達と仲良くしている	97%	93%
4	子どもは、決められた時間の家庭学習をしている	71%	75%
★5	先生は、子どもにわかりやすい授業をしている	95%	100%
★6	先生は、居心地の良い学級にするために努力している	95%	99%
★7	先生は、子どもの良いところをほめ、間違った行動を厳しく指導している	94%	96%
★8	学校は、地域や保護者と連携しながら活動している	95%	99%
★9	学校は、保護者からの相談や要望に適切に対応している	95%	96%

◇ | 学期児童によるアンケート ◇

| 学期全校児童対象にアンケートをとりました。結果概略をお知らせします。

項目	内容	R7.7	R6.7
★1	学校は楽しい	92%	85%
2	学校や地域で元気に挨拶している	87%	88%
★3	友だちと仲良くしている	97%	95%
4	決められた時間、家庭学習をしている	87%	92%
★5	先生は、わかるまで教えてくれる	90%	98%
★6	先生は、あなたの話を聞いてくれる	90%	95%
★7	先生は、ほめたり励ましたりしてくれる	94%	86%

■昨年同時期と比較すると、項目毎には、児童と保護者間では若干の変動は見られますが、ほぼ高評価をいただきました。特に高評価を得た、★項目は校長として大変嬉しい限りです。

昨年度との比較から考察しました。ただし、学習環境(新しい担任、個人の発達)も違っておりますし、子どもたちの心の成長もみられます。

総括すると、学校では一概に数字だけ捉えての判断はしておりません。保護者、児童の評価を組み合わせて、読み取れることをまとめました。

今年度の評価を、夏休み中に全職員で共有しました。次ページのように、更なる高みを目指していきますので、よろしくお願ひします。

※原因と対策について

項目1(学校は楽しい)

⇒保護者と児童の結果に差が見られます。学校で頑張った分、子どもたちは家庭で疲れなどを見せているのかもしれません。今後も学校が楽しいと思えるように、子どもたちに寄り添った活動を取り入れていきます。また、家庭で気になる事があれば、学校へ連絡をお願いします。

項目2(挨拶)

⇒保護者と児童で評価に差が見られます。学年によっても違いますが、挨拶が苦手な児童には、教職員から手本となる挨拶を交わしていきます。また、児童からアイディアを募り、挨拶運動を工夫して行っていきます。全校集会でも元気よくあいさつできる子を紹介していきます。

項目4(家庭学習)

⇒児童にとっては、できるだけ早く済ませたいものです。保護者が確認できる時間帯によっては少ないと感じているのだろうと推察します。大事なことは、家庭で一定時間机に向かって学習する習慣を身につけさせることであります。そして、決まった課題だけでなく、主体的に自分から学ぶ課題を「タブドリ」などで進めていくことです。余談ですが、全校集会で校長が話した「動物の中で一番賢いのはチンパンジーである」という話から、ひょっとしてもっと賢い動物がいるのではないかと疑問に感じて、主体的に調べた子が6年生がいました。このように疑問を主体的に解決していく子はグットです。

項目5(わかるまで教えてくれる)

⇒授業の中で、できているかどうか一人一人を見ていくことを先生方と共通理解しました。課題等も繰り返し(再テスト、再プリント)定着させることをしていきます。

項目6(傾聴)

⇒教職員全員で、何でも話しやすい雰囲気作りと話を聞く時間の大切さを共通理解しました。

【保護者ご意見より一部抜粋】※個人が特定できる内容は、個別に対応しました。

1(水分補給について)

■我が子は頭痛があるので学校でアナウンスかで決められた時間に水分補給させてほしいです。

⇒子どもたちからすれば、のどの渴きがないと「まだ大丈夫」と思ってしまうようです。倒れてからでは遅いので、学校でも声かけだけでなく、飲んだかどうかまで確認していきます。9月も残暑が予想されますので、熱中症対策も継続していきます。

2(宿題について)

■ダブドリの宿題を「やってもいいし、やらなくてもいい」と言われるとうちの子は絶対にやらないので、やるならやる、やらないならやらないでお願ひします。

⇒タブドリについてはやってください。担任からの課題配信は定期的に出されています。まずそれは必須です。その課題以外に、家庭学習時間が目標に達していない場合は、さらにタブドリを進めてください。自分の苦手な単元は、下の学年まで戻って学び直しも可能です。主体的に学んでください。ご家庭でも声かけをお願いします。

3(子どもたちのことについて)

大変良くしてくださっているので、要望はありません。

⇒ありがとうございます。お子様の気になることや要望などは、その都度連絡帳や電話等で連絡下さい。また、学校内での様子で気になることは、担任からご家庭へ夕方電話等で連絡を入れます。